

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

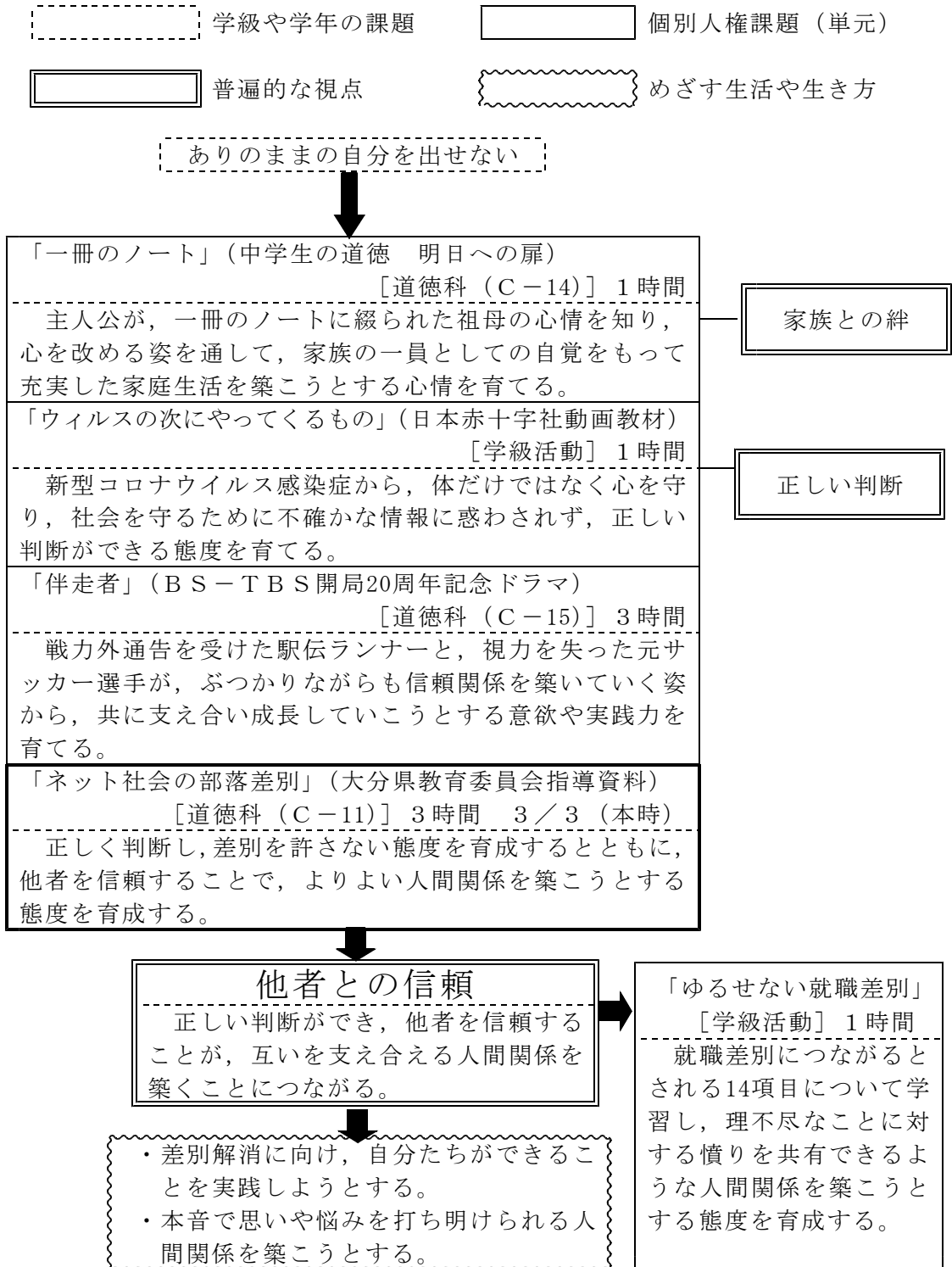
1 主 題 他者との信頼

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

正しく判断し，差別を許さない態度を育成するとともに，他者を信頼することで，よりよい人間関係を築こうとする態度を育成する。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

部落差別に対する強い憤りをもたせるとともに、自分がどのように生きていくかを考え、差別解消に向けて他者と支え合える関係を築いていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-11	公正，公平，社会正義
-------------	------	------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 他者との信頼

個人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 なぜ彼女は、自分の出身地を告げることができないのかを考える。	○これまでの学習を振り返らせ、差別が残されている現実について考えさせる。
2 どうすれば、彼女の苦しみを少しでも和らげることができるのかを考える。	○個別に考えさせた後、班で話し合い、ホワイトボードを用いて発表させる。 ○自分一人では解決できないことでも、仲間がいればよりよい方向へ進むことができることに気付かせる。 ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 差別解消に向けて、自分はどのような生き方をしていくべきだろうか。 </div>	
3 自分のめざす生き方を考え、発表する。	○自分の生き方について、具体的な生活の場面を想定して考えさせる。 ②

(4) 評価

- ・差別解消に向けて、他者と支え合える関係を築いていこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ①
- ・他者の意見をしっかりと受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。 (技能的側面) ②